

## 令和7年度 第2回 大阪市立小路小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立小路小学校

校園長名 湊 健 次

日 時	令和7年11月14日（金）17：30～18：30	
場 所	小路小学校 校長室	
出席者	委員など	会長、委員（6人）
	校園	校長、教頭
	区役所	
議題	<ol style="list-style-type: none"><li>令和7年度 「運営に関する計画」（中間評価）について</li><li>令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果（抜粋）</li><li>令和7年度 「児童アンケート」について（抜粋）</li></ol>	
協議要旨	協議の結果	意見の概要（○…委員から ・…学校から）
	1 「運営に関する計画」（中間評価）について 全国学力・学習状況調査の結果について 「児童アンケート」について	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 子どもは素直で元気なのが一番。学校に登校しているということは、それでいい。「学校が楽しくなかったら」登校しない。</li><li>○ 不登校の児童は、4月の転入生で、前の学校から不登校であった児童が一人いるということだが、毎日遅刻して登校している児童を見かけるが、不登校ぎみなのではないか。</li><li>・ 学校には来ているが、休みがちであったり、遅刻が多い児童がいる。不登校になる可能性があるので、対策している。家庭に問題があり、区役所のサポートネットの方に、1学期は毎日迎えに行ってもらい、寝ているのを起こして、学校まで連れてきてもらっていた。今は、サポートなしで登校できるようになっている。遅刻はよくするが、電話を入れると、母親が寝ている子を起こして、登校させるようになった。</li><li>○働き方改革は、大変ではないか。仕事量はそんなに変わらない。早く帰るには、家に持ち帰って仕事をしている先生もいるのではないか。</li><li>○先生がしなくてもよい仕事は他に任せるとは、どのようにしているのか。</li><li>・ICT機器を使って、仕事を効率的に行うことに取り組んでいるが、それだけでは仕事量は減らない。大阪市ではスクールサポートスタッフやワークバランス支援員や教頭補助員という職種があり、電話対応やプリント印刷、プリント配布準備、書類整理などの仕事をしている。少し負担の軽減にはなっている。</li><li>○外国籍の児童が増えていると聞く。地域の方でも、外国籍の大人のさまざまな行動に困っている。言葉が通じなかったり、言葉が通じても、わからないふりをしたりする。</li><li>・この夏休みに7名の外国籍の児童が本校に加わった。大阪市</li></ul>
	2	

		<p>全体でも、来日した外国籍の児童が爆発的に増えている。来日して、最初はプレクラスに行って、その後日本語指導センター校へ行くのが普通だったが、今はすぐに行くことができない。教室で、学級担任が困っている。</p> <p>○ 地域の親子イベントの案内の英語ポスターを作ったところ、外国人の親子が来た。必要なことかなと思う。</p> <p>○中学校にもたくさんの来日生徒がいる。中国やベトナムからの生徒が多く、同じ国の生徒が固まって話をしたりしている。日本の生徒とは話さず、自分たちでコミュニティを作っている。保護者も、同じ国の人たちで固まり、日本語を使う必要のない生活をしており、日本語を覚えない。</p>
協議資料		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度 「運営に関する計画」（中間評価）</li> <li>・令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果（抜粋）</li> <li>・令和7年度 「児童アンケート」について（抜粋）</li> </ul>
備考		傍聴者[ 0 ]名